



YMCA NEWS

金沢青年

HP 版 No.6 (2005 年 12 月号)

発行所: 金沢キリスト教青年会 本部 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見タウンハイツ 201
TEL/FAX (076) 221-5398 <http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>

6YMCA 協議会 に出席して

理事 朝倉 秀之



金沢 YMCA は、井上良彦理事長を迎えて新たな出発をしました。マイナスのところを見ないでプラスのところを見て行きますと、この YMCA NEWS が定期的に発行されていることです。そして理事会で決めたことが会員に連絡され活動が理解され始めていることです。金沢 YMCA では小学生を対象とした様々なキャンプが始まったことはうれしいことですし、このことが将来の YMCA の働きに繋がって行くように願っています。「みどりっ子キャンプ」、「もみじっ子キャンプ」、「ゆきん子キャンプ」などを計画・実行しています。「金沢わいわい寄席」も今度で第3回目を迎えます。

金沢 YMCA が多くの問題を抱えたまま、日本 YMCA 同盟の協議会に出席しても意味がないのではないかと、理事会は欠席の通知をだしました。しかし、同盟の佐竹さんよりそのような問題を話し合う場だから出席して欲しいという依頼があり、理事会を開いて出席することにしました。結論をいいますと、出席して良かったと思います。

この 6YMCA 協議会というのは、「2005 年度ボランティアのみによって運営されている YMCA の協議会」という名称でした。もっとはっきり言うと、専任職員がいない YMCA ということです。集まったのは熱海 YMCA、松山 YMCA、沖縄 YMCA、鳥取 YMCA、福知山 YMCA それに金沢 YMCA でした。11 月 19 日(土)から 20 日(日)にかけて協議が行われました。開会の礼拝があり、参加 YMCA の現状報告がありました。その後日本 YMCA 同盟および全国 YMCA の状況報告がありました。日本全国には 34 の加盟登録 Y と 32 の学 Y があり、10 億以上の予算を持っている YMCA が 6 団体もあるということや金沢 YMCA のような形態で活動しているのが 6 団体あることなどを知りました。各 YMCA の課題はそれぞれに違う問題を持っていて、同盟に対する期待もさまざまです。金沢 YMCA は新しく出発したといいながら、まだ登記が行われていません。まず、新たな登記から始めなくてはならないでしょう。

YMCA 国際協力募金ご協力のお願い

◇YMCA 国際協力募金って？

世界に広がる YMCA のネットワークを通じて、地球上のすべての人びとが、国・民族・宗教を越えて平和にいきいきと暮らすことができる世界をつくりだすための国際協力・地域奉仕活動に使われます。

◇世界の YMCA が力をあわせて

国際協力は相互協力です。各国の YMCA は「支援を必要とする人々へのプログラムを実施する現地の YMCA」に協力していきます。'95 阪神大震災の時には世界中の YMCA から協力をいただきました。

◇自分の力で解決することをお手伝い

紛争や災害、貧しさの中にある人びと、青年・女

性・子どもたちの側に立ち、彼らが自分の力で解決できるようになることを目指し、世界中の YMCA は協力して取り組んでいきます。

◇ひとを育てます

識字教育や職業訓練だけでなく、国際協力の場で働くボランティアやスタッフの養成を、世界 YMCA 同盟、アジア・太平洋 YMCA 同盟、また、行政や他団体とも協力して行います。

募金方法

郵便振替 口座番号: 00190-6-464236

加入者名: 日本 YMCA 同盟 地域国際募金口

《 Y M C A と 私 》

教会・ハイY・シティY

金沢 YMCA 理事
金沢犀川ワイズメンズクラブ会員 平口 哲夫



金沢ハイY連盟 俵キャンプ 1961
洋弓を楽しむ筆者と、これを指導する羽鳥主事(金沢 YMCA)

8月20日、KKRホテル金沢で金沢泉丘ハイYOB・OG会が開催された。泉丘ハイスクール YMCA 創立以来の同窓生が一同に会するのは今回が初めて。私は16期生、懇親会で乾杯の音頭をとられた俵 守彦さん(3期生)は創立前夜の頃から活躍してこられた大先輩に当たる。しかも俵さんは、私が中学生のときに通っていた金沢若草教会の日曜学校の先生でもある。

野田中学校に入学した当時、1年生は現在の金沢大学附属高等学校の敷地内に建っていた元陸軍騎兵兵舎を改造した分校で学んだが、本校に通いはじめた2年生のときに入会した演劇部の練習中、窓から見える若草教会のことが話題になり、1年先輩の藤田英典さんに誘われて若草教会に行くようになった。藤田さんは泉丘高校に進学するとともにハイYに入部、私も同高校に進学するとやはり釣られてハイY生になった。金沢 YMCA の主事をしておられたことのある上関 和夫さんも泉丘ハイYの1年先輩だった。

冒頭で述べたOB・OG会では久しぶりに藤田さんや上関さんに会い、四方山話に花を咲かせた。懇親会で紹介した自作のスライドショー「追憶」には、私たちが参加した俵キャンプの懐かしい写真も含まれている。当時はシティYとハイYと教会という三つの組織がうまくリンクしていたように思う。

サイクリングクラブ

金沢 YMCA 理事
金沢ワイズメンズクラブ会員 数澤 輝夫

サイクリングとの出会いは、サイクリング車(3段変速)を購入したときから始まる。1956年頃からサイクリングブームとなり、いち早く YMCA にもサイクリング愛好者でサイクリングクラブが誕生し、クラブ会長として愛車と共に活動する。

次に、ある日の初夏の思い出「日帰りサイクリング」の一コマを紹介しよう。

当時の目的地は、鶴来・天狗橋である。主催は金沢 YMCA、後援は北国新聞社であった。金沢～鶴来間往復は約50kmである。天気は晴れ、サイクリング日和である。元気に「おはよう！おはよう！」のあいさつを交わしながら YMCA 会館前に集まる。参加者24名、小学5年生から愛好者、淵田多穂理総主事を初め YMCA 会員である。ほとんどが軽快車または実用車であった。淵田総主事のあいさつ後、走行上の諸注意が行われた。いよいよ出発、リーダーの合図で第1グループ(8名)のスタート、続いて第2、第3グループである。グループ毎に交通ルールを守りながら大自然の中、銀輪を連ねて走る、その爽快さを全身で受け止めつつ走った。

約1時間走って休憩、水分・カロリーの補給等、楽しい歌から「サイクリング、サイクリング、ヤホーヤホー……」等を合唱する。途中、名所旧跡を訪ねながら目的地の「鶴来・天狗橋」に到着する。川原で昼食休憩、付近の散策、川遊び等を楽しむとともに親睦を図った。行きは、登り坂が多くて若干の疲れもあったが、帰りは、下り坂をルンルン気分で全員元気に、淵田総主事も実用車で無事に完走した。

次回の再会を約束！ありがとう！さようならの楽しい日帰りサイクリングであった。

《 活 動 報 告 》

もみじっ子キャンプ in 五郎島

10月15日はあいにくの雨模様でした。今回は人数が少なかったため、ジャンボタクシーでの移動となりました。



午前中は五郎島で芋掘りをしました。最初につるを取り、その後一斉に掘り始めました。顔ほどもある大きなものがあつたり、カエルを見つけたりと大騒ぎ。たくさんサツマイモが採れました。次は場所を金沢教会の茨木町集会所へと移し、お昼ご飯作りです。今日のメニューはサツマイモの蒸しパンにサツマイモとリンゴのサラダ。サツマイモは結構堅く、包丁で切るのに一苦労でした。小麦粉やベーキングパウダーを「あーだ、こーだ。」言いながら協力して分量を量っていた子供たちの姿がとても印象的でした。少し時間がかかりましたが蒸しパンはふっくらと、サラダもおいしく、楽しいランチとなりました。

午後は男女に分かれてクイズ大会、芋判作りをしました。クイズ大会では両チームとも白熱し接戦でした。最後まで勝敗は分からず、結局女子チームが2ポイント差で勝利を収めました。芋判作りでは失敗を繰り返しながらも自分の満足のものを作り上げようと、みんな真剣そのものでした。最後はみんなの判を押しもらった素敵な色紙を手し、家へと帰って行きました。

(O.Y.)

クリーンキャンペーンへの参加

金沢市青少年団体連絡協議会が主体となり、毎年2回(百万石祭りの6月、それと秋の10月)金沢市の恒例行事として、行われてきております。金沢YMCAも青団連の一員として、参加しておりますが、10年以上のブランクのため、子供たちの参加がなく、金沢ワイズメンズクラブと金沢犀川ワイズメンズクラブのメンバーが「クリーンキャンペーン」に参加してきました。青団連事務局からYMCAさんは大人ばかりですと言われるほど、子供たちの参加できない残念さを温めてきました。

今年から、このクリーンキャンペーンが市内の町会の皆さんの自覚が出てきて、自分たちの町は自分たちできれいにしようと、特に青団連が行事実施しなくて、各団体は各々の町会の計画に合わせて実施することになりました。金沢YMCAは恒例で、YMCA周辺を約1時間かけてクリーン作戦を行っており、今年も金沢クラブ、犀川クラブのメンバーが勢揃いして、たばこの吸い殻、空き缶を主に回収しました。

例年に比べて町がきれいになっており、回収量も少なく、喜ばしいことと思われました。終了後、犀川クラブの皆さんは、クラブの清掃先として清掃作業を続けておられるW坂へと向かわれました。皆さんご苦労様でした。

(澁谷 洋太郎)

親子イモ煮会

11月3日、メネット会恒例のイモ煮会が津幡森林公園炊飯広場で行われました。当日は朝から雨が降ったりやんだり、たいした降りでもなかったのですが、まずまずの天気かなと思って家を

出て目的地に向かいましたが、だんだんと降りが大きくなってきました。着いた時には、伊藤さん御夫妻、澁谷さんメネットさん達が、いつもの場所を確保なさっていました。でも屋根のある炊飯場はシートでおおわれ、しっかり片づけられていました。なんで?と思ったら、10月一杯で閉場されていたのだそうです。今まではそんな事なかったのに、ついていないなあ…。

11時すぎ、そんな雨の中次々と参加者が集まり、レンガの釜で火をおこしたり、大鍋2個に芋を洗って準備、ネギをななめに切る、コンニャクをさらっと下ごしらえなど、いつもの手順で進めていきます。



本日は、私達のいつものメンバーの他に、YMCAの行事に参加しているお子様とそのご父兄様合計21名が加わって約40名分の計算で我々メネットは腕の見せどころと頑張りました。雨はだんだんと激しくなり、食する頃は一番ひどかったのではないかと思います。でも味は最高でした。若い?お子様から70才以上までの年齢差の中でここに集まる事に感謝してお祈りし、全員たのしくワイワイと味わいました。大勢で食べると又格別の味です。

午後2時すぎにそろそろお開きに……。鍋の中をきれいに食して、すすけた所をタワシでこするとすぐきれいになる裏技をほどこしてあるので後始末も苦になりません。お椀もきれいに片づけて火の始末、あつという間に終わりました。

私達が帰路について森林公園を出た途端、雨がやんで青空が顔を出してきました。

今までの11月3日は晴れの日が多く雨の日はほとんどなかったため、今年は記憶に残る芋煮会になる事と思います。

(山谷 明代)

インフォメーション

金沢わいわい寄席

日 時:2006年2月7日(火)
開場 18:30 開演 19:00
場 所:県立音楽堂B1F交流ホール
出 演 者:二代目森及福郎、林屋市楼
入 場 料:前売り券 1,500円(ドリンク付き)
お問い合わせ:澁谷 携帯 090-4683-9380